

Geeko Magazine

Vol. 8

OSC 2014
Tokyo/Spring

openSUSE に貢献してみませんか？

あなたにできることがたくさんあります

さくらのクラウドに openSUSE をインストール



「次の夏コミでは、ボクの同人誌を出せるといいな」@C85某ブースにて



発行：日本 openSUSE ユーザー会



openSUSE に貢献してみませんか？

あなたにできることがたくさんあります。

openSUSEは、世界中から集まった、たくさんのコミュニティメンバーによって開発されています。メンバーには SUSEの社員もいますが、ボランティアの人もかなり含まれており、開発だけではなく、デバッグやドキュメントの作成、マーケティングなど、様々な形で openSUSEを支えている人がいます。しかしながら、ディストリビューションが大きくなっていく中で、人手が足りなくなっています。あなたも世界的で伝統があるディストリビューションの openSUSEに貢献してみませんか？

openSUSEの開発 —最新版を追いかけるのが好きな方大募集

ディストリビューション開発で重要なことは「パッケージング」(アプリケーションやライブラリのパッケージを作成して、ユーザーがすぐに使えるようにすること)です。openSUSEのメインリポジトリに入っているものだけでも 6000パッケージ以上あるため、かなりの人手が必要です。

新しくパッケージを作成するには、RPMパッケージについての様々な知識が必要になりますが、既存のパッケージのバージョンアップは比較的簡単です。というのも、(1)開発元から最新版のファイルをダウンロードし、(2)ファイルを差し替え、(3)ビルドし、(4)正しく動作するかをテストして、(5)変更ログを書くだけのことが多いからです。

openSUSEでは Open Build Serviceというパッケージ開発のためのサービスを使っています。これを使うことで、誰でもがすぐにパッケージ開発に参加できるようになっています。いつも自分でソースコードから最新版をビルドしている方は、そのついでにパッケージを作成して、ぜひ次のバージョンの開発に協力してください。

デバッグ

多くの人に安心して使ってもらうには、リリース前のテストと、リリース後のバグの早期修正が重要です。まず、テストはユーザーであれば誰でもが簡単にできることです。最近では仮想マシンが気軽に使えるので、β版をインストールし、普段使用しているアプリケーションなどが、いつも通り動くかを確認するだけで十分です。問題があれば、バグ追跡システムやメーリングリストで報告してください。

せっかくバグが報告されても、それぞれのアプリケーションに詳しい人がいないために、その原因の特定と修正ができないことがあります。最近では、NFSサーバー、GTK、Mozillaに詳しい方が求められています。

イベントへの参加

昨年は東京、名古屋、京都、福岡のオープンソースカンファレンスに参加し、セミナーやデモ、資料の配布を行って来ました。まだ参加できていない地方の OSCもありますし、配布物の作成など、人手が必要なことがいくつかあります。

またイベントは国内だけではなく、openSUSE Summitは世界中から openSUSEユーザーが集まるイベントです。トラベルサポートに応募すれば、最大で費用の 80%を援助してもらえます。5月には初のアジア地区の openSUSEイベントが北京で開催される予定です。(GNOME.Asiaとの共同開催)

せんか？

くさんあります！

さくらのクラウドに openSUSE 13.1 をインストールする

前回の OSC東京でさくらのクラウドの利用券を頂いたので、早速 openSUSE 13.1をインストールしてみました。残念ながら、さくらのクラウド側では openSUSEのディスクイメージが用意されていません。利用する場合には ISOファイルアップロード用のストレージ（有料）を追加して、ローカルからディスクイメージをアップロードする必要があります。

SUSE Studioでカスタマイズ

DVDのインストールイメージをアップロードするには、(ADSL回線なので)かなり時間がかかってしまうため、SUSE Studioで 13.1カスタマイズしたインストールメディアを作成し、アップロードしました。このイメージには、最低限のサーバー環境に加え、設定がしやすいように、システム設定ツールの YaSTを入れました。YaSTは Xサーバーが起動してなくても、Cursesベースの TUIでネットワークやブートローダーの設定ができます。実際に作成したイメージは以下の URLからダウンロードできます。SUSE Studioのアカウントを作成すれば、このイメージをベースにさらにカスタマイズすることもできます。

<https://susstudio.com/a/pBMcw1/opensuse-13-1-based-server-with-yast>

作成したイメージは Preload ISOイメージと呼ばれるもので、このイメージを使用して起動すると、右図のように、インストール先のディスクを選ぶ画面が出ます。選択すると、すぐにインストールが始まります。容量は 765 MBと少し大きいのでアップロードには時間がかかりますが、コピーが始まってしまうと、10分程でインストールが終わります。

インストール後に行った特別なことは、管理画面からディスプレイにアクセスするときに画面解像度が大きくなり過ぎないように、起動オプションに nomodesetを追加したくらいです。YaSTの「ブートローダー」を使うと、Grub 2の設定ファイルが分からなくても簡単に設定できます。さくらのクラウドではネットワークの設定も手動で行う必要がありますが、Web管理画面に IPアドレスなどの入力機能があり、よくできています。

最後に

このサーバーは3ヶ月ほど運用していますが、これまで使っていた格安 VPSとは異なり、まだ一度も落ちていません。Amazon EC2や Windows Azureには、SUSE Studioと連携して、カスタマイズしたイメージを直接クラウド側に送信できる機能があります。ぜひ、さくらのクラウドでもサポートされると良いですね。



openSUSE 初心者の館



Q1: openSUSE ってな〜に? なんて読むの?

Linux ディストリビューションの1つで、Windows や Mac と同じ OS の1つです。オープンソースと読みます。SUSE はドイツ語で Software und System Entwicklung の略です。

Q2: 他のディストリビューションと比較して、どのような特徴があるの?

最大の魅力は、統合管理ツール YaST (やすと) です。インストール、パッケージ管理、ハードウェアやサーバーの設定・管理と幅広くサポートしています。とても使いやすく、初心者からベテランまでおすすめです。

openSUSE を支える仕組みとして Open Build Service (OBS) と SUSE Studio があります。OBS は開発者にクラウド上のパッケージの開発環境と公開する場を提供します。ユーザは OBS 上の様々なパッケージ (の最新版) を見つけ、1 クリックでインストールすることができます。

SUSE Studio を使うと GUI 操作でインストール済みのディスクイメージを作成したり、オリジナルの Live DVD を作成することができます。

Open Build Service: <http://build.opensuse.org/>

パッケージの検索: <http://software.opensuse.org/search>

SUSE Studio: <http://susestudio.com/>

Q3: マスコットのカメレオンの名前は?

Geeko (ぎーこ) といいます。geek (コンピュータおたく) + gecko (やもり) とかけたのが由来です。

Q4: SUSE Linux Enterprise (SLE) との違いは?

openSUSE では最新の技術を取り込みながら、その成果を SLE のベースとして提供する役割を担っています。openSUSE のベンダーサポートやセキュリティパッチはコミュニティによって提供されています。

openSUSE 日本語コミュニティ

opensuse-ja メーリングリスト — 質問などはここが一番!

参加方法 opensuse-ja+subscribe@opensuse.org 宛に受信したいメールアドレスから空メールを送る。メールアドレスを確認するメールがすぐに返ってくるので、そのまま返信する。

過去のメールは Web ブラウザから読むことができます: <http://lists.opensuse.org/opensuse-ja/>

日本 openSUSE ユーザ会勉強会

不定期に都内で行っているアットホームな勉強会です。

IRC openSUSE 定例

毎週土曜日夜 10 時から FreeNode の #opensuse-ja チャンネルに集まりチャットをしています。

SNS

Twitter: [@opensuseja](#) から openSUSE ユーザを見つけられます

Facebook: <http://www.facebook.com/opensuseja>

日本語フォーラム

一時閉鎖中

2ちゃんねる Linux 板の SUSE Linux スレッド

お問い合わせ先

日本 openSUSE ユーザ会: <http://opensuse.geeko.jp/>

openSUSE 公式サイト: <http://ja.opensuse.org/>